

FREE

ご自由にお持ちください。

No.857
2025 February

2

岐阜県の森林・林業

も り
森林のたより



News of the forest



「森のジョブステーションぎふ」が移転開所

— 人材育成と就業支援機能を集結 —



●詳細は3ページをご覧ください



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

http://www.g-forestry.or.jp (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

開催日	行事名等	内容等	場所
			申込(問合せ)先/TEL
2月21日(金)	令和6年度 岐阜県治山林道技術成果発表会	<ul style="list-style-type: none"> ●時間：10：00～15：20 ●内容(予定)：岐阜県内の治山林道事業に携わる技術者が日頃の研究成果を発表 ●対象：岐阜県治山研究会員、岐阜県林道研究会員 ●定員：150名程度 	岐阜県庁舎1階 ミナモホール 森林経営課 / 058-272-8489 森林保全課 / 058-272-8526
2月24日(祝)	ぎふ木育交流会	<ul style="list-style-type: none"> ●時間：10：00～15：30 ●内容(予定)：県内各地で木育や自然体験活動を行う団体や指導者等を対象に交流会を開催 ●対象：ぎふ木育の指導者、森のようちえん活動団体、プレーパーク実践団体、保育士、教員、自治体関係者、学生等 ●定員：70名程度 	各務原市学びの森 (各務原市那加雲雀町 10 - 4) 各務原市総合福祉会館 (各務原市那加桜町 2 丁目 163) 森林活用推進課木育推進係 TEL：058-272-8821



イベントカレンダー(一般向け) 2

ぎふの林業就業相談拠点「森林文化アカデミー」内に誕生
 「森のジョブステーションぎふ」事務所移転 3

令和6年度岐阜県木の国・山の国県産材利用促進表彰
 受賞者紹介 4

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムから知事への要望を実施
 森林環境譲与税のお悩み相談は、地域森林管理支援センターへ(9)
 シリーズ役立っています！「森林環境譲与税」 6

地域を守り、未来を築く岐阜県営林J-クレジット 7

地域の「森を地域の財産に！」 8

「ぎふ森フェス」を開催しました！ 9

山の歳時記 234 センリョウII 10

シリーズ「森林・環境税」で「緑豊かな清流の国ぎふづくり」(10)
 ぎふ木遊館通信 12

morinos プログラム紹介!! 13

「ぎふの木・使います！」(12) 14

木の香るぎふの施設(142) 美濃市美濃会館 15

森林と人を活かす知恵(145) 16

木を美しい何かにするために「観察力」をアッサンで手に入れる
 研究コーナー 17

アマミラゼによる原木シイタケの発生を高める技術開発の可能性
 普及コーナー 17

恵那地域の再造林の現状について 18

スマート林業通信(45) 19

国有林の現場から(100) 20

日本の滝百選「根尾の滝」への遊歩道が復旧しました 21

令和6年度山地災害防止写真コンクール受賞作品のご紹介 21

林業者向けお知らせ 22

市況 22

目次 Contents

表紙 ● 詳細は3ページをご覧ください

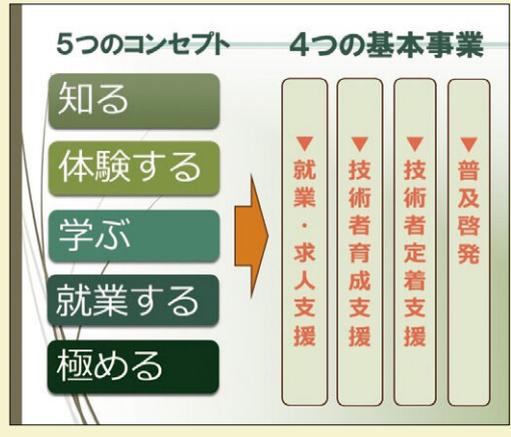
ぎふの林業就業相談拠点が
森林文化アカデミー内に誕生
「森のジョブステーション
ぎふ」事務所移転



(公社)岐阜県森林公社 平井理事長

岐阜県で林業に就業したい方の相談から技術習得・定着までを一貫してサポートする機関として2018年4月に岐阜県中濃総合庁舎(美濃市生籾)の1室で「森のジョブステーションぎふ(通称・森ジョブ)」は産声をあげました。

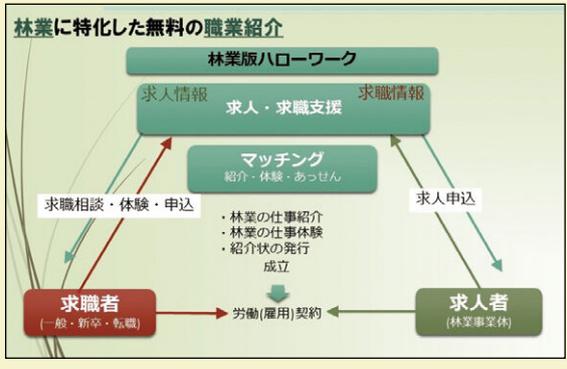
また同年8月「林業の無料職業紹介所」として厚生労働大臣認可を受け、就業支援機能強化を図りぎふの森林で働くことを希望される多くの方々に活用されてきました。
開所から7年の歳月を経て、この度新たな船出の場として、岐阜県立



森林文化アカデミー(美濃市曾代)に移転開所し、2024年12月17日に、多くの関係者の皆様が見守る中、盛大な移転開所式を執り行いました。
式典では、岐阜県林政部長、森林文化アカデミー学長、森林公社理事長から新たな船出に向けた心強い挨拶とぎふ森ジョブアンバサダー「さばいどる かほなん」の広報大使の活動報告をいただきました。事務所前で東濃ひのきで作られた看板を設置し、「森のジョブステーションぎふ」が新天地での林業就業支援業務をスタートさせました。

【森のジョブステーションぎふの就業支援】
当ステーションは、林業就業に興味を持たれた方に5つのコンセプトを基に相談者に合わせた各種事業に

よる支援を行っています。
岐阜県で林業就業を望まれる方には、希望される森林組合や林業会社等の具体的な情報提供や就業調整、紹介状発行など林業版ハローワークとして、相談者個々に寄り添い丁寧就業支援を行います。



「森林文化アカデミーとの連携による担い手確保」

この度の移転により、森林文化アカデミーの先進的な教育の知見を森ジョブの技術者育成研修に取り入れ、学生の就業支援や県外からの就業者確保とアカデミー学生の確保等の様々な連携強化を図っていきます。人材育成機関と就業相談支援、無料職業紹介の組織が一体となり大きな相乗効果を発揮することが期待されます。

【新事務所のお知らせ】

岐阜県美濃市曾代88
岐阜県立森林文化アカデミー内
テクニカルセンターA棟1階
電話番号 0575-29-3838
FAX番号 0575-29-3839
E-mail m-job@gifu-shinrin.or.jp
HP <https://m-job.net>

(車)東海北陸自動車道・美濃ICより車で約10分
(鉄道)長良川鉄道「梅山駅」下車、徒歩約10分



●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-29-3838
「森のジョブステーションぎふ」まで

令和6年度岐阜県木の国・山の国県産材利用促進表彰 受賞者紹介

県では、県産材の利活用を促進することで、脱炭素社会の実現、循環型社会の形成及び地域経済の活性化に資することを目的に、「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」を令和5年4月1日に施行しました。この条例では、県産材の利用の促進に関し顕著な功績がある者を表彰することとしています。

今回初となるこの表彰は、令和6年3月から5月にかけて「木造建築部門」「木質化部門」「木製品部門」の3部門で募集し、11月2日に表彰式を開催しました。受賞者を部門ごとに順次ご紹介します。

木質化部門



最優秀賞

高山市立新宮小学校

施主 高山市
設計者 有限会社小林建築設計事務所
施工者 堀口・林特定建設工事共同企業体

地元で育つ多くの樹種の木材を使用して校舎内を木質化しており、樹種ごとに違う質感・色味を体感できます。また、地域産業の飛騨春慶塗や圧縮杉のフローリングなども積極的に活用し、地元の産業を子どもたちが知ることができる空間となっています。



優秀賞

岐阜市立長良小学校

施主 岐阜市
設計者 大建・大建met(エムイーティー)設計共同体
施工者 市川・雛屋・土本特定建設工事共同企業体

校舎はRC造で柱・梁といった構造体を現しとしながら、効果的に木質化を融合し、素材を生かした空間となっています。フローリング、木製建具、廊下との間仕切り壁、腰壁、教室の家具などの空間の主要な部分に県産材を使用し、木の手触りや香りを楽しめます。



優秀賞

いわのだこどもの森(岐阜市)

施主 社会福祉法人堂角舎
設計者 株式会社山岡哲哉建築設計事務所
施工者 株式会社高垣組

床や壁の多くを木質化し、やわらかで温かみのある雰囲気となっています。また、県産材で製作された家具も、木質内装と調和しつつも機能的なデザインとなっており、建物全体で県産材の魅力を伝えられる空間となっています。



特別賞

西美濃農業協同組合(大垣市ほか)

施主 西美濃農業協同組合

西美濃農業協同組合垂井支店をはじめ、複数の支店において内装に県産材を活用し木質化を実践しています。温かみがあり落ち着いた空間とすることで、組合員・利用者のよりどころとして親しまれる支店づくりを進めています。

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムから 知事への要望を実施

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム（以下、コンソーシアム）では、去る12月17日(火)に岐阜県庁において、岐阜県知事に対する全59項目にわたる提案・要望を行いました。

冒頭、岐阜県議会林業活性化促進議員連盟会長の村下県議よりご挨拶いただいたのち、涌井史郎理事長から知事に要望書を手渡し、趣旨説明を行いました。続いて、県内林業関係5団体【(公社)岐阜県山林協会・岐阜県森林組合連合会・岐阜県木材協同組合連合会・(一社)岐阜県林業経営者協会・(一社)岐阜県森林施業協会】の各会長から、提案・要望項目について内容の説明が行われました。

今回の提案・要望では、林業・木材関連産業界として、自然資本の保全と経済的価値創出を両立させるネイチャーポジティブ経済を牽引していくこと、そして新たな木材需要に応えるとともに、森林の存在価値に対する県民の理解を深めることで地域経済の活性化と雇用の創出を実現し、「清流の国ぎふ」の豊かな森林資源を活かした持続的な成長に貢献するための取り組みに焦点をあてた内容としました。

古田知事からは、「林業・木材関連産業は時代の先端の課題を担っており、課題と政策の宝庫である」、「県政全体どころか地球規模で物事を考え長期的な視野を持ちながら課題を解決していくことで、林業・木材関連産業は益々大きくなっていくのではないか」、「政策体系全般についてのご提案をいただいたと受け止め、これに見合う予算、組織、施策を揃えていきたい」などのコメントをいただきました。

今後もコンソーシアムでは、健全で豊かな森林を次世代に伝える林業・木材関連産業であるために、様々な社会課題を解決する森林の重要性を改めて認識しつつ、鋭意取り組んでいきます。



提案・要望の参加者



県産未利用広葉樹で試作した椅子について説明

ネイチャーポジティブ経済を牽引し「森林生態系サービスの発揮」を通じて 「清流の国ぎふ」を次の世代へと伝える林業・木材関連産業であるために

1. 森を活かし守る

～ネイチャーポジティブ経済への移行に資する森林の保全整備の推進～

- (1) 森林由来のカーボン・クレジットの創出及び利用の拡大
- (2) 脱炭素社会及び生物多様保全に貢献する森林整備の推進
- (3) 森林GXに貢献するエネルギーの森づくりの推進
- (4) 森林の新たな価値を活用する機会の充実
- (5) 野生動物による被害防止のための総合的対策の推進
- (6) 林地・森林土壌保全対策、山地防災力の強化

2. 森づくりを支える

～地域の森林を守り活かし続けるための体制強化と人材育成～

- (1) 市町村及び地域の森林管理体制強化に向けた支援
- (2) 担い手の確保・育成・定着
- (3) スマート林業の活用推進
- (4) 労働安全対策の体系化と浸透
- (5) 森や木と県民をつなげる場の提供

3. 木の利用を広める

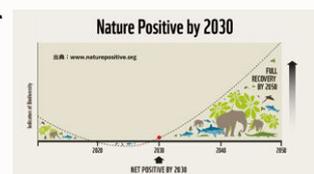
～カーボンネガティブに貢献する木材の利用拡大と技術開発の促進～

- (1) 新製品・新技術の開発促進
- (2) 森林を活かす都市（まち）の木造化・木質化の推進
- (3) 多分野への木材利用の拡大

4. 森から木を届ける

～木質資源の生産効率化と安定供給体制の整備～

- (1) 木材の生産効率化の推進
- (2) 林業・木材産業における地域サプライチェーンの構築・強化
- (3) 安定供給に向けた製材工場等の体制の整備



出典：www.naturepositive.org

【岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム事務局】(岐阜県立森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター 産学官連携係)

●詳しい内容を知りたい方は TEL 0575-35-2535 森林技術開発・支援センターまで

森林環境譲与税のお悩み相談は、 地域森林管理支援センターへ

第9弾

～「衆力功をなす」一人で悩まず、みんなで解決しましょう!②～

地域森林管理支援センター 副センター長 小島 徳文

第47代アメリカ大統領に、ドナルド・トランプ氏が返り咲きました。大変お騒がせなイメージが強いと感じていますが、彼の有言実行の行動力には、見習うところが多くあるのかと思います。

さて、今回は、森林のたより令和6年10月号でもお伝えしましたが、市町村担当者が日頃から悩んでいる課題の解決に向けた取組みのうち、残り4課題の意見交換の主な内容について紹介します。

①所有者探索

所有者不明森林等に係る特例措置の活用／所有者探索手法の改善／未相続者（相続不明者）の探索／意向調査での返送案件の調査／森林調査にあたる職員の不足／専門の職員を配置出来ない場合の負担増

②集積計画策定

森林調査のプロット設定／集積計画に代わる「協定」による森林整備の進め方／集積計画設定の所有者署名の時期／経営管理権設定期間中の森林管理／主伐の集積計画策定／相続人が多い場合の時間と労力のかけ方

③森林経営管理制度

「市町村で管理して欲しい」という森林所有者からの要望への対応／森林経営管理制度の広報のあり方／特例措置についての公告期間の短縮／森林の維持管理に係る経費負担

④その他

森林簿データの管理／森林面積が少ない場合の制度の必要性／森林経営計画／森林環境譲与税の使途／林業行政担当職員の確保

この中で、所有者探索の分野では、所有者不明森林等の特例措置活用について検討している市町村から、先進地の担当者との意見交換を行いたいとの要望があったことから、1月20日に勉強会を開催したところです。

また、森林経営管理制度の分野では、森林整備を進めていくためには森林所有者の理解が必要であり、広報が重要となることなどが市町村担当者間で共有できました。

今回も、意見交換を通じて、自分の市町村での業務の進め方を整理できたのではと考えます。終了後のアンケートにおいても好意的な意見が多く、このような意見交換を継続していくことは、たいへん意義があるものと感じました。森林経営管理制度の1丁目1番地である「未整備森林の整備」に手を付けた我々、パンドラの箱を開けたら、森林の相続、所有者の探索、森林所有の放棄、境界の明確化など次々と出てくる様々な課題。地域森林管理支援センターでは、こうした課題について、市町村担当者の皆さんに力添えできるように取り組みます。悩みごとがあれば、随時、ご相談いただき、箱の一番底にある「希望」を一緒に掴みましょう。



勉強会の様子

森林経営管理制度や
森林環境譲与税に関する
お悩み相談は？

「地域森林管理支援センター」まで

TEL:058-201-5013 FAX:058-275-4398 E-mail:f-shien@g-moriren.or.jp
〒500-8356 岐阜市六条江東2丁目5番6号 岐阜県森林組合連合会内

役立っています!“森林環境譲与税” 4

手入れの行き届かない森林の整備や担い手の育成などの取組みを進めるための財源として、国から県や市町村へ森林環境譲与税が配分されています。このコーナーでは、県内市町村による森林環境譲与税の活用事例について連載で紹介いたします。

郡上市—航空レーザ計測による高精度な森林資源情報の活用—

取組みの背景

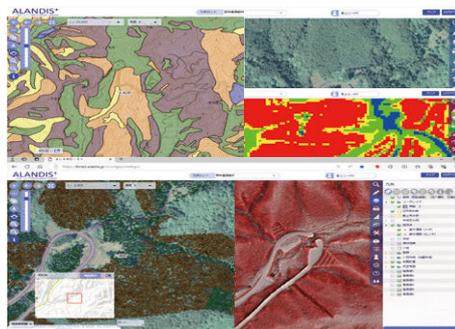
郡上市は、市域の約9割を森林が占め、間伐等の手入れが行き届かない森林や、利用可能な時期を迎えた森林が多く存在していますが、適正な森林管理や木材の安定供給等が課題になっています。これらの課題を解決するうえで、森林資源の現況の把握は必要不可欠です。ICTを活用し、森林資源情報を高精度に解析するとともに、森林管理システムの構築や木材生産性の向上を図る体制づくりを進め、林業の成長産業化に取り組んでいます。

事業内容

- ・航空レーザ計測データを活用したスギ・ヒノキ人工林の単木解析（樹高、胸高直径、材積）
- ・単木解析データを活用した森林クラウドシステムの導入
- ・森林クラウドシステムを活用した森林施業プラン作成等の実証

取組みの成果

当該データ及びシステムの活用により、高精度な森林資源情報を把握することが可能となり、現場作業時間の短縮が見込まれます。また、作業の効率化により、限られた人員においても、より適正な森林管理、木材生産性の向上につながる事が期待できます。



森林資源情報の高精度解析の結果

お問い合わせ

森林環境譲与税について：県森林活用推進課 森林吸収源対策室 森林吸収源対策係
郡上市の取組みについて：郡上市 農林水産部 林務課

TEL:058-272-8821
TEL:0575-67-2121

地域を守り、未来を築く
岐阜県県営林Jークレジット

県営林整備の増進と企業評価の向上—

岐阜県では、岐阜県県営林で初の森林吸収源クレジットである「岐阜県県営林Jークレジット」を販売しています。販売収益は県営林の整備に役立てられます。カーボン・オフセット等に利用でき、環境への貢献などのCSR効果も期待できます。

※CSRとは：企業活動において、社会的公正や環境などへの配慮を組み込み、従業員、投資家、地域社会などの利害関係者に対して責任ある行動をとるとともに、説明責任を果たしていくことを求める考え方

Jークレジットは何に使える?—

経団連カーボンニュートラル行動計画の目標達成やカーボン・オフセット、地球温暖化対策の推進に関する法律の報告など様々な用途に活用できます。

- 販売単価 11,000円/t-CO2（消費税及び地方消費税を含む）
- 販売回数 令和6年7月10日より販売開始
詳細は岐阜県公式ホームページよりご確認ください。
- 販売数量 最小販売単位は1t-CO2で1t単位での販売
- 購入申込 岐阜県公式ホームページより様式をダウンロードして郵送にて申請してください。

Jークレジットとは—

省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

本制度は、国により運営されています。

カーボン・オフセットとは—

カーボン・オフセット (carbon offset) とは、自分が出すCO₂をほかの人が削減したCO₂で排出量全体、または一部を穴埋めする制度です。

どうしても出してしまうCO₂の分、

出典：Jークレジット事務局HP





自ら伐倒もする藤吉さん

森を地域の財産に！

NPO法人 柚の杜学舎

代表 藤吉 智志さん

今回は、美濃市片知川源流地域で森林整備に取り組んでいるNPO法人柚の杜学舎（そのもりがくしゅ）の藤吉さんを紹介いたします。

「柚の杜学舎」の概要

NPO法人柚の杜学舎は平成十四年に当時森林文化アカデミーの学生であった鈴木章氏によって設立されました。「森への想いをカタチにする」をコンセプトに、管理放棄され荒廃した森林の整備を中心に、一般市民や森林所有者に対する森林教室や各種講習会等を開催してきています。令和二年からは澤田良二氏が二代目代表に就任、その後令和六年に藤吉さんが三代目代表に就任しました。

藤吉さんのプロフィール

藤吉さんは昭和五十四年生まれ、岐阜市の出身です。

大学時代は東京で過ごし、卒業後は雑誌等の編集者として十年間ほど非常に忙しい日々を送っていたそうです。二人目の子供が生まれたことや東日本大震災を経験したことで改めて生活や働き方を見つめなおし地元へ戻ること。子供のころは長良川で鮎を捕って遊び、学生時代はラフティングやツーリングで日本各地の川を下り、バックパッカーとしてガンジス川やアマゾン川へも旅行するなど川に魅力を感じていたことから、その源である山を守る仕事に興味を持ち、ちょうどそのタイミングで出会った前代表の澤田さんの「五十年後に評価される仕事をしたい」という言葉に感銘をうけ、林業

をやっていく決意を固めたそうです。

柚の杜学舎へ入るきっかけ

はじめは郡上の林業会社に就業しましたが、その後、澤田さんが柚の杜学舎の代表になった際に一緒に働かないかと声をかけていただき快諾。

柚の杜学舎へ入ってからは、これまでの現場での経験を活かしつつ、補助金の申請や会社の経理などより広範囲な業務を経験し、代表とともに片知の森林整備に取り組み現在に至っています。

仕事で大切にしていること

藤吉さんが山仕事をする上で大切にしていることは、関わる森林だけではなく、何十年も先の地域住民や地主の状況も含めた里山全体のあるべき姿、あつてほしい姿を考え続ける姿勢だそうです。事務所がある片知地区も高齢化が進み人口が減り続けるなかで、里山を誰がどう管理していくのがよいのか、どういう山づくりが最適なのか、誰も正解を知りませんし正解がひとつとも限りません。だからこそ、これまで積み重ねてきた地域の人の関わりや、森林文化アカデミーの先生方や学生との協力体制、農林事務所や美濃市、中濃森林組合との信頼関係を大切にし、謙虚に学びながら自分たち

にできる山づくりを進めていきたいとのこと。

そのためのひとつの手法として、片知の山では地域の共有林を間伐によって針広混交林を含む災害に強い環境林へ誘導しようとしています。施業にあたって

は環境負荷が小さい規格（幅員）の狭い道を四万十式といわれる手法で開設しており、使用する重機も5トンクラスのグラップル等と小さなサイズ。「なので、作業の段取りや仲間との連携、造材など工夫をしている」そうです。

また同社は岐阜和傘の部品「傘口」に使用するエゴノキを守り育てる活動「エゴノキプロジェクト」にも深く関っており、その活動は一つの工芸の維持継承のために多くの関係者が結集する他に類をみない活動として、この冬に三井ゴールデン匠賞を受賞しています。



エゴノキプロジェクト活動参加者

今後について

柚の杜学舎も若い作業員の教育や新たな仲間の確保が当面の課題だそうです。それと並行して「自分たちらしい森づくりを守りながらも、プロセッサの導入など効率化も積極的に取り組んでいきたい」とのこと。

藤吉さんや柚の杜学舎だからこそ森づくりに今後も期待したいです。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-3334011 内線2300

中濃農林事務所まで



「ぎふ森フェス」を開催しました!



「ぎふ森のある暮らし推進協議会」では、9月28日から11月30日にかけて、県内各地の森林空間を活用した、森林アスレチック、マウンテンバイク体験、森林浴などの体験プログラムを楽しめるイベント「ぎふ森フェス」を開催しました。

今年度は初の開催でしたが、1,400名を超える方にプログラムに参加いただき、岐阜の森林が有する価値や新たな可能性に気づく良いきっかけとなりました。参加者は、岐阜県内に限らず、愛知県をはじめとした県外からも多くお越しいただき、北海道、宮崎県など遠方から足を運んでくださる方もいらっしゃいました。

参加者からは、「森を知るにはとてもいい内容のプログラムでした」「子どもも帰りたくないというくらい大喜びでした」などのご感想をいただきました。事務局職員もいくつかのプログラムに参加させていただき、森の中で日頃の疲れを癒すことができました。

プログラムを実施いただいた事業者様からは、「コンセプトが「森」に絞られて、情報がターゲットとする層に届けられた」「今年の反省点を見直して、来年もぜひ参加させていただきたい」などのお声をいただきました。

ご参加いただいた皆様、プログラムを実施いただいた事業者様、この度はありがとうございました。

当協議会では、来年度も「ぎふ森フェス」のほか、セミナーや交流会などを開催予定です。協議会への入会を希望される方は、下記の事務局までお問い合わせください。



キックオフイベント FORESTIVAL IBI
(西濃建設株式会社)



標高 1000m で天空のデイキャンプ体験
(Alpen Outdoors しろとりフィールド)



苔むす森を満喫する旅
(株式会社 MGN・株式会社長瀬土建)



Fun&Joy ネイチャリングツアー
(国民宿舎恵那山荘)

問い合わせ先

ぎふ森のある暮らし推進協議会事務局 (岐阜県森林活用推進課 森林サービス産業支援係)
TEL : 058-272-8472 メールアドレス : c11513@pref.gifu.lg.jp





文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

前回に続いてセンリョウについてお話しします。

センリョウは対生する緑の葉に、艶やかな赤色や黄色の果実が映えるため、冬の生け花素材として人気がありますが、1月下旬には果実のほとんどがメジロやジョウビタキなどについばまれるほど野鳥にも人気があります。

昔の人は果実を愛でるだけでなく、果実から種子を取り出して陰

干しし、軽く炒って食べていたそうです。「ゴマのような香ばしい風味があつた」と聞いたので、私も早速試してみましたが下準備や調理に苦労するほどの味とは思えませんでした。

センリョウの茎は少しふくれた節がありますが、果実が赤色のセンリョウの茎は赤みがる特徴があり、中国では九節紅または九節風と呼んで茎葉を乾燥させて九節茶として飲用します。ちなみに果実が黄色いキミノセンリョウの茎は緑色をしています。

センリョウは植物学的に変わった特徴があります。

基本的に針葉樹の木質組織は仮道管が約9割を占め、その仮道管が木を支える機械的支持と、水分などを運ぶパイプの2つの役割を兼ねています。これに対し広葉樹の木質組織は針葉樹より複雑で、木を支えるのは木繊維や柔細胞が担い、水分などを運ぶパイプ役は

道管という組織が担っています。

センリョウの特徴の1つは、広葉樹に分類されるのに針葉樹やシダ植物同様に、木質組織が主に仮道管で組織され、一部に道管があることです。

次にセンリョウは茎の先に穂状花序をつけ、1つ1つの小花は花軸に球形で黄緑色の雌しべがあり、その側面に米粒のような薄黄緑色の雄しべがあります。更に雄しべの左右には、花粉をつくる葯という器官が2つあり、葯の膜が破れて花粉が出ると黄色くなるのです。2つ目の特徴はセンリョウの花には花弁や萼などの花被がなく、雄しべと雌しべが露出した花を咲かせることです。

上記2点の組織の構成や、花の構造を見ても、センリョウは広葉樹の中でも最も原始的な種類であると考えられます。

最後に図鑑によって、学名が *Sarcandra glabra* と記

されたものと、*Chloranthus glaber* と記されたものの2つに分かれます。

この違いは植物分類体系が古い分類か、1990年代以降に採用され始めたAPG植物分類体系によっているかです。センリョウ科はChloranthaceaeと同じ分類なのですが、センリョウ属は古い分類でChloranthusとされ、APG植物分類体系第3版では *Sarcandra* となっているので、くれぐれもご注意ください。



一般的なセンリョウとキミノセンリョウの果実と種子

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

10

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

森と木と水の環境教育推進事業

事業目的

子どもたちや幅広い世代を対象に、ぎふの豊かな自然（森・川・里山など）の持つ様々な公益的機能やそれらの保全に関する正しい知識の提供、森・川・海のつながりを実感するためのフィールドを活かした環境教育、木に触れ合うことを通じて自然に親しむ体験活動などの実施に対し支援し、将来の清流の国ぎふを担う人づくりを推進しています。

事業内容

■緑と水の子ども会議

小中学校、高等学校、特別支援学校等に対する環境教育の実施支援

■ぎふ木育教室

幼稚園・保育園等の子育て関連施設を対象とする森と木に関する体験講座の実施

■市町村企画事業

市町村が独自に実施する幅広い世代を対象とした環境教育の経費の支援

令和5年度の事業実績

緑と水の子ども会議では延べ5,362人、ぎふ木育教室では延べ1,671人が参加しました。また、市町村企画事業は10市町で実施し、延べ4,660人が参加しました。

参加者からは、「改めて身近にある森林を知り、森林は私たちにとってかけがえのないものなんだと気づかされた」や、「園の周りの自然をじっくりと五感で感じ、子どもたちの発見や気づきが多くあった」という好意的な意見が多く寄せられるなど、本事業にてぎふ木育の取組みを推進することができました。



緑と水の子ども会議（自然観察）



ぎふ木育教室（葉っぱや木の実を使ったまご遊び）



●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-8255 森林活用推進課 木育推進係・緑化推進係まで



ぎふ木遊館通信



ぎふ木遊館のギャラリーでは、県内各地の「ぎふ木育」の取組や、その背景となる自然・産業等を紹介するギャラリー企画展を開催しています。今回は、令和6年10月から令和7年1月にかけて開催した3つの企画展についてご紹介します。

<中津川市 森の担い手育成の取組と絵で見る林業道具展> 10月18日~11月10日

中津川市では、森の担い手を育成するため、木育に取り組んでいます。市内の幼児に自然体験や木工体験を提供する活動の様子を、たくさんの写真とともに紹介されました。活発な取組の中で開発された木育教材の数々も見てたえがありました。

また、元 営林署(現 森林管理署)職員が作成された「絵で見る 山林作業と道具や機械の移り変わり」の冊子及びパネルも展示され、皆さんに少し昔の林業を知っていただくことができました。



なかつがわ木育の歴史が詰まった展示



目を引く林業道具・機械のイラスト

<ひだ木遊館オープン記念「飛騨匠の技・こころ」木工展> 11月14日~12月8日

11月16日にぎふ木遊館のサテライト施設「ひだ木遊館 木っずテラス」がオープンした高山市。ひだ木遊館のオリジナル木製遊具や木のおもちゃで遊ぶ子どもたちの様子が写真や映像により展示され、たくさんの方に興味を持っていただきました。



ひだ木遊館を写真で紹介



高山市で作られた椅子でひと休み

そのほか、高山市内で制作された飛騨春慶や一位一刀彫などの伝統的工芸品から、可愛らしい木のおもちゃ、実用的な食器類までバラエティーに富んだ木製品が展示されました。歩き始めたばかりのお子さんが、自由に座れるように展示された椅子でひと休みされる光景もみられ、皆さんに高山の木の作品を知っていただく機会になりました。

<恵那市の木作家による木工作品展> 12月12日~1月7日

当企画展では、恵那市在住の木作家が製作した木工作品が展示されました。珍しい五本指の下駄や、機械によって緻密に作られた様々な看板(室内サイン)など、素敵な木工作品の数々は見ていてとても楽しく、木の可能性を感じました。

また、恵那市では、市内の森林を将来にわたって持続的に活かし、守り続けられる人材を育成するため、木育が取り組まれており、パネルや写真により紹介されました。こども園で開催された木育教室の写真は、木の枝や葉っぱで基地を作る楽しそうな様子が印象的でした。皆さんにも、木育の良さが伝わったのではないのでしょうか。



恵那市で作られた木工作品の数々



楽しそうな木育教室の様子

今後も様々なギャラリー企画展を開催しますので、ぎふ木遊館公式ホームページ等でぜひチェックしてみてください。(ギャラリーの見学のみであれば、事前予約不要・入館料無料です。)



施設案内・各種イベント情報は
右の二次元コードからチェック!



ぎふ木遊館
ホームページ



ぎふ木遊館
Instagram

GIFUMOKUYUKAN8717



やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介!!

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（愛称morinos）で実施している指導者向けプログラムについてご紹介します！

くひだ木遊館 木っずテラスオープン記念！森のあそび場を一緒に考えてみよう！>

morinosでは、保育士や教員、森のようちえん指導者など自然体験活動の指導経験を持つ方向けのスキルアップ講座を実施しています。今回紹介するのは「くひだ木遊館 木っずテラスオープン記念！森のあそび場を一緒に考えてみよう！」。岐阜県立森林文化アカデミー特任教授である川尻秀樹さんをお招きし、施設で行うプログラムの参考となるような遊びを体験して、木っずテラススタッフが抱える問題点について参加者全員で話し合いました。

まずは川尻さんのミニ講義。川尻さんは樹木の歴史や広葉樹と針葉樹の違いなどについて教えてくれました。木の種類だけでなく、同じ木でも若い木・年寄りの木では性質が異なることも学びました。

木について知識を深めたところで、次は外に出て遊び体験です。まずは「目で食べる」。「目で食べる」とは、自然にあるものを食材に見立てて料理を作る遊び。飛騨地方では紅白もちを使った「花もち」など見立ての文化もあり、飛騨地方らしさのある遊びです。大きな葉っぱを肉に見立てた生姜焼きや、木の枝に葉っぱを刺して串焼きにするなど思い思いの作品が出来上がりました。

「日本の古代色さがし」では、古代色である黄蘗色、灰桜色、苔色、若草色、山葵色の5色に近い自然のものをそれぞれ探しました。古代色の名前からもわかるように、昔の人は植物の名前で色を表現していました。探してきたものの発表では、そっくりの色のものを持ってきた方、2つ合わせるとこの色になる！と想像で色を作る方などそれぞれの個性が出ました。



川尻さんによるミニ講義



「目で食べる」で作った料理の発表



集めた「古代色」の紹介



危険場所のチェック

午後からは木っずテラススタッフが抱える問題点を共有して、みんなで対策を考えました。問題点として挙げられたのは、保護者に対して子どもの数が多いときの対応、遊具の危険性、年齢制限のある場所の利用の仕方など…。開館してから課題が色々見つかったようです。問題点について3グループに分かれて解決策を考えました。すると、スタッフの配置や安全マニュアルの見直し、大人がルールで縛るのではなく、子どもたちが自分でルールを考えることも大切だ、など様々なアイデアが浮かびました。



解決策について相談

今回の講座は、くひだ木遊館 木っずテラスの今後に向けて意見を交換し合える場づくりとなりました。くひだ木遊館 木っずテラスがみんなと一緒に作り上げる場所になるお手伝いのできたらうれしいです。

●くひだ木遊館 木っずテラス

2024年11月16日（土）高山市にて、「くひだ木遊館 木っずテラス」としてリニューアルオープンした「ぎふ木遊館」のサテライト施設。

くひだ木遊館 木っずテラスHP

<https://hida-kidsterrace.jp>



くひだ木遊館 木っずテラスHP



morinos HPでは、こうしたプログラムから日常風景まで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開館時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」



“ぎふの木”使います!

— 岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定締結者のご紹介 —



県では、「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」(R5.4.1施行)に基づき、事業者と協定を締結し、県産材の利用を促進する構想の実現に向けて連携して取り組むことで、脱炭素社会の実現や循環型社会の形成、地域経済の活性化を目指しています。

現在32者の事業者の皆様と協定を締結しています。各協定締結者の取組みを順次紹介します。

後藤木材株式会社 (岐阜市)

<今までの取組み内容>

当社は非住宅分野の木造化・木質化を進めています。

木造化では、2022年にプレカット工場を新築、2,880㎡の大規模木造に取り組みました。その中で大スパン・大開口・木構造現しを実現しつつ、コストと納期を抑えるため、一般流通材を活用した「GWシステム建築」を開発しました。工場は、非住宅木造のモデル棟として見学が可能で、木造で工場などをお考えの方に計画段階から構造提案をしています。木質化では、独自の圧密技術によって、軟らかい木材から硬く強い材に加工した内外装材を提案しています。国産材に多くあるスギやヒノキを活用した床や壁、家具、デッキ、外壁など用途が広がっています。



<今後の取組み内容>

木材をより活用していくために、まだまだ開拓できる場所があります。非住宅分野の木造化や木質化など、時代の新たなニーズに応え、付加価値の高い事業に挑戦していきます。具体的には材料としての木材の均質化・高品質化の追求や、規制の厳しい中心市街地での木造高層物件に挑戦し始めています。

<事業者概要>

- 所在地 岐阜市大倉町12
- 主な業務内容 木材・建材・設備機器等の販売、木造構造設計・加工
- ホームページURL <https://www.houscrum.co.jp/>
- その他



各協定締結者には、県産材の活用について積極的な普及啓発に努めていただきます。



美濃市美濃会館

美濃市2057番地



施設全景

○ 施設の概要

事業年度	令和5年度
事業主体	美濃市
構造 延床面積	木造 平屋建 274.81㎡
施設用途	隣保館(社会福祉施設)
木材使用量 使用樹種	82.96㎡ スギ、ヒノキ
全体事業費	158,045千円
助成額	4,658千円 (木の香る快適な公共施設等整備事業)
設計者	NANO SPACE
施工業者	小椋工業株式会社
工期	令和5年6月21日～令和6年3月8日



集会室

多目的室



施設の経緯

旧美濃会館は昭和51年に鉄骨造で建設され、隣保館として生活上の各種相談事業をはじめ、社会福祉、保健衛生等に関する事業を総合的に担ってきました。このたび、老朽化により建て替えとなりました。

岐阜県立森林文化アカデミーとの連携により外観のイメージや県産材の活用を検討したり、カーボンニュートラルを目指す取組みとして太陽光発電システムを導入しました。

新しい美濃会館は木造平屋建てで、施設内は木の香りがいっぱいです。バリアフリーで高齢者の方々も利用しやすい施設になっています。



ここに注目!!

天井を吹き抜けにし、大きな梁を設け、窓の上には木の飾りをデザインし、建物の中で木がいっぱい、木の香りがいっぱい!!

利用者の様子

集会室、多目的室共に、パーティーで仕切ることが出来るので、各グループは人数や活動内容に合わせて利用が可能となっています。

木の香りの中、落ち着いた雰囲気で行なったり、同好会など地域交流を楽しんでいます。

■問い合わせ先
美濃市福祉子ども課
TEL 0575-33-1122

木を美しい何かにするために

観察力をデッサンで手に入れる

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 ● 松井 匠

養われます。

ちよっと立ち上がって隣人の絵を見ると、その人が絵を描いている時間を追体験する感覚を得ることが出来ます。同じものを同じタイミングで描いているので、絵を見ただけで、それを描いた人の気持ちを推測でき、「この線を描くときに強い気持ちで描いているすごいな」とか「こんな難しいところを慎重に描いているので、描いていてすごいな」ということがわかるのです。

これによって、デッサン経験者は絵を分析・評価できるようになります。モノの良し悪しを理解して、自分の経験にすることが出来るのです。

良いものをつくるには、まず観察から。木から良いものをつくるクリエイターを増やしていきたいですね。

呼んでいます。

そう考えると、良い何かをデザインする人は強用美を三つとも学び、理解して調整する必要があります。

では、この中で最も正体がわからなさそうな「美（意匠）」を身に付けるにはどうしたらいいのでしょうか。

そこでデッサンの登場です。建築でも木工でも、良いものを見て分析

し評価できれば、自分の引き出しに入れることができます。その観察する力をデッサンで手に入れようというわけですよ。

デッサンは見たままをそのまま絵に描くというものですが、1人で行うよりも多人数で同時に行うことで、観察力を体得できる極めて優れた手法になります。それは次の3つの観察を同時に行うからです。

1. モチーフ（対象物）
2. 自分の絵
3. 他人の絵

モチーフと自分の絵がずれたら直す、陰影のトーンがずれたら直す、距離がずれたら直す。

これを繰り返すうちに、モチーフを観察する力が付き、僅かな光の差が見えるようになってきたり、2ミリのずれに気がつくようになります。

また自分の絵の印象を観察することで「四角い紙の中で絵が右に寄っているな……」などバランス感覚が

森林文化アカデミーは森林や木材に関する分野で活躍するクリエイターを育成していますがわたしは木造建築教員として建築技術や知識を講義しつつ「デッサン」も教えています。なぜ森林利活用の建築教育でデッサンを教えるのでしょうか。

紀元前のおかしから建築教育では良い建築の在り方として「強用美を備えよ」といわれています。これは「性能（強）、機能（用）、美（意匠）」が塩梅よく備わった建物が良いよ」という意味です。

二千年以上も前の言葉ですが、なんとこの言葉は建築だけでなく木材を使った製品開発においても、家具においても適用できてしまいます。高性能でも野暮ったい木製品は流通しませんし、洒落た造形でも重くて壊れやすい椅子は嬉しくありません。「強用美を良い塩梅にすること」はそれ自身が総合的なスキルで、わたしはそれを「デザイン」と



アミラーゼによる原木シイタケの発生を 高める技術開発の可能性

森林研究所 ● 上辻久敏

はじめに

県内の食用キノコ生産者は栽培資材や原木、燃料の高騰、産地間の競争激化により厳しい経営状況にあります。そのため、菌床栽培で「アミラーゼ（酵素）」を用いた増収技術を開発してきました。マイタケではアミラーゼを添加する以外は生産工程を変更することなく従来の生産施設で増収効果を実証することができました（図1）。



図1 アミラーゼで増収したマイタケの様子
（※無添加と比較して3割増加）

今回菌床だけでなく原木シイタケ生産でもキノコの発生量を増加することができるのかアミラーゼ増収試験を行いました。その結果、原木シイタケでもアミラーゼで増収することが分かりましたので紹介します。

アミラーゼの働き

アミラーゼは、消化酵素の一種でハサミのような働きをします。エネルギー源となるご飯やパンなどに含まれるデンプンを切断することで、消化を助ける作用があり、人の唾液にも含まれています。食品産業では、生産性向上、発酵促進等の目的に食品添加物として様々な加工に利用されています。キノコの菌床に添加した場合は菌床の多糖を菌が吸収しやすい状態に変化させていると考えられています。

アミラーゼの使用について

キノコの増収には培地組成や培養条件の改良、品種の変更などが行われていますが、生産者には生産条件を大幅に変更することはリスクを伴います。反面、アミラーゼの利用は、栽培用の培地（菌床）を製造する過程で培地資材に水を加えて攪拌する際に合わせて添加する簡易なもので、生産条件の大幅な変更を伴いません。しかし、原木では菌床製造工程がないので、効果を確かめる第1段階として培養したシイタケ原木にアミラーゼの添加を試みました。

施設での試験方法

原木シイタケ栽培では、菌床製造の際、ミキサーによる攪拌工程がない代わりに、培養したシイタケ原木を発生させる前に浸水する工程があります。約180本分の培養原木を1日浸水し、原木あたりのアミラーゼ添加量を統一するため、浸水から引き上げた直後の原木にアミラーゼの添加を行いました（図2）。アミラーゼの原液を250倍に希釈して接種穴あたり注射器で0.5 mlを添加し、約4日間シートで覆った保温（乾燥防止）環境で培養後、発生用ハウス内に原木を展開しました。添加したアミラーゼは、添加後常温でゆっくり働きます。処理効果はアミラーゼ添加の有無による原木から発生するシイタケの発生量と大きさの分布について比較しました。

試験結果

今回の試験により、アミラーゼを添加することで原木シイタケの発生



図2 原木シイタケ生産施設での試験

量を36%増加することが分かりました。シイタケの傘の大きさ比較では、商品価値の高い6, 7 cmのサイズのシイタケが増加していました（図3）。今回の試験では、原木シイタケ生産におけるアミラーゼの効果の有無を確認するため、1本あたり約50個ある接種穴にアミラーゼを添加しました。今後は、大量の原木にアミラーゼを効率よく添加する条件を明らかにし、技術の実用化を目指していきます。

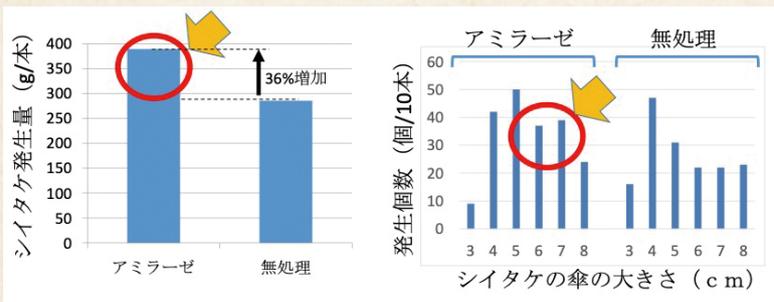


図3 アミラーゼ添加の有無による原木シイタケ発生の比較

詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-1331-2585

森林研究所まで



恵那地域の再造林の現状について



■恵那農林事務所 林業課

林業普及指導員 池田 毅

●はじめに

人工林の主伐・再造林の推進は、恵那農林事務所管内においても、人工林の齢級構成の平準化のため、数年前より地域のモデルとして、主に市有林にて進められています。

主伐は皆伐となるため、林地残材が大量に発生し、地拵えを行うための労務を必要とします。この労務を低減する取組みを行っています。

また、管内にはほぼ全域にカモシカとニホンジカ、さらにノウサギが生息していることから、再造林した場合、獣害対策は必須になります。

この二つの取組みを、ご紹介します。

●取組みと事例

①林地残材対策

皆伐された木材材積の内、約3割を占める枝条や短材等の燃料用材(以下D材)が、再造林を行うにあたり植栽の障害となっています。

緩傾斜で車輻系での搬出以外の場合、架線による全木集材となります。

その場合一カ所に集積し、造材するためこのD材の数量が多くなります。

管内においては、このD材を持ちだし木質バイオマス発電所への燃料材に活用する手段として、次の団体による集荷体制が整備されています。

【団体名】

恵那地域未利用材活用企業体

【目的】

恵那地域未利用材の循環活用

【構成員】

中津川市森林組合、恵南森林組合、恵那市森林組合、集荷加工者、チップ運

搬者、発電事業者

【活動内容】

D材活用研修会の開催(低コスト集荷方法、スムーズなD材搬出調整、D材搬出活用量のアップ等)

【今年度新たに実施した内容】

集荷加工拠点を3箇所整備
・中津川ヤード(中津川市福岡)
・恵那ヤード(中津川市蛭川)

・上矢作ヤード(恵那市上矢作)

各ヤードの集荷距離は平均で15km、集積可能量は約500〜800tとなっています。



枝条の運搬状況



枝条の破碎状況

皆伐や間伐事業地で発生したD材は近くのヤードへと搬出され、ある程度集積出来た時点で、破碎機を持ち込んで破碎し、発電所に運搬していただきます。

②獣害対策

当地域においても、獣害対策としては、ネットタイプの防護柵、チューブタイプの単木保護資材、忌避剤の3種類が使用されています。

それぞれ良い点、悪い点があります。が、実施した中で注意が必要な事例について記載します。

ネットタイプの防護柵について、網目はシカが侵入しないよう10cmメッシュで施工しましたが、ニホンジカの侵入は防げたものの、ノウサギの侵入を許してしまい、苗木のほとんどが被害を受けました。

これは、事前に植栽地周辺にどのような被害をする動物が生息しているか等の情報不足と、ノウサギ等への対策の事前検討不足から招いたものになります。

チューブタイプの単木保護資材については、全域を皆伐したことで風当たりが変化したことにより、単木保護資材が一定方向からの風による振動でずり上がることで、植栽木が露出してしまい、結果としてニホンジカによる被害が広範囲に発生しました。

このことを踏まえて単木保護資材は、皆伐後に局所的に変化する気象条件を予測して、イボ竹と保護資材を結束する資材の工夫をすることや、強度についての検討が必要といえます。



保護資材が外れ植栽木が露出

●結果

①林地残材対策

皆伐現場において、枝条等を搬出したことにより、地拵えの手間が大幅に低減したことで、柵が縮小したことにより植栽する面積が増加しました。また、枝条等のD材の取扱量が増加したことにより、山元に還元することができました。

②獣害対策

獣害柵については、設置場所が窪地や岩がある場所では、ネットを押さえるアンカーピンが利いていなかったり、本数が足りず下部に隙間があった箇所もありました。そのことから、ノウサギ等の侵入を許す恐れがあることが、確認できました。

単木保護資材については、様々なタイプがあり、積雪の有無や地形等により、どの資材が適切なのかまだ検討を重ねていく必要があります。

このことから、設置に対する知識や経験不足という課題があらわになりました。

●終わりに

主伐・再造林を、推進していくためには、植栽の経費を少しでも安く抑えることが必要です。

このためには、枝条等を効率的に集積搬出する仕組みと、集積量を多くすることが、山側への還元へ繋がります。

獣害対策として、今までは柵等で防御する守りの対策でしたが、食害の根本の原因である獣の数を減らすための攻めの対策が必須です。特に、獣害対策施工地の周辺で集中して捕獲圧をかけて獣の密度を減らすことも考えていくべきと考えています。

そのことから、管内林業事業者等を対象に、捕獲を進めるための狩猟者との連携も含めた、獣害防止対策研修会を開催しました。今後も地域の中で情報交換をしつつ、適切に獣害対策を行い再造林を推進していくよう活動していきます。



皆伐現場

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0573-261111(内線305)

恵那農林事務所まで

スマート林業通信 45

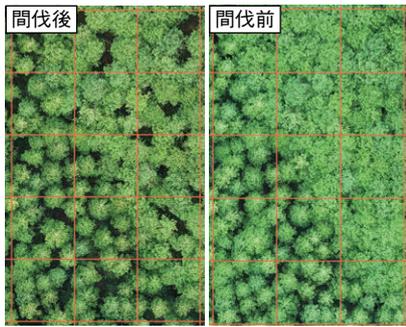
間伐におけるデジタル申請について

スマート林業通信45でもお伝えしましたが、本県においても、令和3年度からGNSS測量や人工造林、下刈り、幼齢木保護材、防護柵等についてUAVにより作成されたオルソ画像を使ったの補助申請ができるようになりました。

これらのデジタル技術によって申請者、検査者双方の事務の効率化が図られるものと期待されていますが、全国的にはまだ事例が多くないのが現状です。

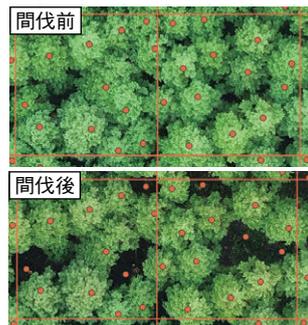
このため、林野庁では、デジタル申請について、具体的な方法を整理したガイドラインの作成を進めていくところです。

こうした一方で、間伐やその他の施業種でもデジタル申請に取り組んでいる県もあることから、今回は、間伐においてオルソ画像を使ったデジタル申請の検証を行いました。



間伐前(右)と間伐後(左)の比較

間伐前と後のオルソ画像を比較すると、間伐の実施状況がよくわかります。



樹頂点による実施前後の比較

また、実施前の画像に目視で付けた樹頂点に間伐実施後の画像を重ねれば、どの木が伐られたか確認できます。

ただし、この樹頂点を数えれば間伐率の確認ができるかというところという訳ではなく、劣勢木を伐った場合は、上層木に隠れて判別ができません。

また、上の間伐前の写真の右側のように特にヒノキなどで樹冠が混んだ林分は樹頂点の判別が難しいため、別の方法を検討する必要があります。

しかしながら、件数の多い間伐においてデジタル申請や検査ができれば、大きく事務の省力化が期待できますことから、今後も検証等を行っていきます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-1350663

森林文化アカデミースマート林業推進係まで

日本の滝百選「根尾の滝」への 遊歩道が復旧しました

令和6年11月17日、復旧工事が進められていた根尾の滝遊歩道、吊り橋が完成し特定非営利活動法人飛驒小坂200滝により渡り初めイベントが開催され岐阜署からも出席しました。

根尾の滝は濁河国有林内に位置する、落差63m、幅5mの美しい滝で日本の滝100選にも選ばれている名瀑です。江戸時代には、高山陣屋代官や多くの文人、墨客に愛され、書画にも描かれており、今日に至るまで多くの人がその姿を見るため足を運んでいる滝です。



根尾の滝



テープカットの様子

平成30年6月28日、のちに西日本豪雨災害と呼ばれる豪雨は御嶽山の西麓も襲いました。一晩にして谷という谷から大水が噴き出し、清流は濁流へと変わり、小坂の滝めぐりの遊歩道やその活動エリアは甚大な被害を受けました。中でも、滝めぐりの起点となるがんだて公園付近の被害は大きく、豪雨後に訪れたときは目を覆いたくなるような光景が広がっていたそうです。



激しく被災した遊歩道

その後、関係各所の尽力と岐阜県の予算によりがんだて公園周辺の三ツ滝遊歩道は早急な復旧が行われ平成30年の8月には利用することができるようになりました。しかし、あまりに多くの滝めぐりコースが被災したため、その全容把握だけでも1年以上を要し、発災

から6年以上経過しても手つかずのため通行止めとなっているコースも少なくない状況です。

滝めぐりの顔ともいえるべき根尾の滝へ続く遊歩道も甚大な被害を受けており特に、濁河川に架かっていた吊り橋が流失してしまい、ガイドなしでは訪れることができない状況となっていました。



流された吊り橋

橋復旧に向けては、山奥の、しかも道路から200mも下方にある谷底の吊り橋の復旧ということで施工の可否、莫大な事業費を要するなどのハードルがあり、一朝一夕に事は進まなかったようです。

あるとき、北アルプスの伊藤新道復活のネット記事の中に吊り橋の記事をみつけたことをきっかけにそんな状況が動き始めます。知り合いを通じその運営会社とコンタクトをとることができ根尾の滝遊歩道の復旧に向け歯車が回り始めました。山岳事業のプロフェッショナルであるマウンテンワークスとその運営事業において実際に設計・施工した河東工業による現地確認の結果、吊り橋の架設は可能であるとの回答をもらえ、下呂市の協力もあり遊歩道(吊

り橋)復旧の目的が立ちました。崩壊した遊歩道の復旧など不足する資金についてはクラウドファンディングを活用。令和6年10月20日には吊橋の資材を人力で運ぶ「吊橋再建工事着工！歩荷イベント」を開催し、約40名のボランティア、下呂市職員、滝めぐりスタッフ合わせ、総勢60名の剛力が何度も200mの標高差を往復し、およそ2トンの資材を運びおろしたそうです。



新しくなった吊り橋

頑張る歩荷ボランティア

そんな話を聞いた後、早速根尾の滝を訪ねてみました。滝はもちろん素晴らしかったのですが、新しくなった遊歩道と吊り橋に込められた思いを感じながら遊歩道を散策することができました。

なお、根尾の滝遊歩道は危険な箇所や急坂がありますので登山靴等の山歩きができる装備でお出かけください。

滝めぐりについては、飛驒小坂200滝まで
→ <https://www.osaka-taki.com/>

(岐阜森林管理署)

令和6年度 山地災害防止写真コンクール受賞作品のご紹介

一般社団法人日本治山治水協会主催の「令和6年度山地災害防止写真コンクール」において、岐阜県から2名の方が奨励賞を受賞されました。おめでとうございます。
(表彰作品は最優秀賞1点、優秀賞5点、奨励賞5点)

作品1



受賞者のご紹介

作 品	作品1	作品2
受 賞 者	金子 卓憲 (県恵那農林事務所)	萬谷 巨哉 (県森林保全課)
題 名	谷止工完成	「小坂のくらしを 守り抜く治山ダム」 について学ぶ
撮影場所	中津川市	下呂市

作品2



森林・林業関係イベントカレンダー(2月)

林業者向け

開催日	行事名等	内 容 等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場 所 申込(問合せ)先/TEL
2月4日(火)~ 2月7日(金)	フォークリフト運転技能講習 受講資格 自動車普通運転免許所持者	● 講習時間 1日目: 学科 8:30~16:30 学科試験 16:30~17:30 2~4日目: 実技・試験 8:00~17:30 ● 申 込: 開催日の20日前まで ● 受講料: 32,450円(本代含む)(振込み) ● 定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	(学科) 伊自良中央公民館(山県市大門912-1) (実技) ぎふ農協 旧伊自良共選場(山県市洞田127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

「料理は旅をしない」—これが私の仕事に対する矜持。望むものは自ら探し求めるという真理が、時に人生を動かします。日本中を旅し、気づけば仕事で未踏の県は青森、秋田、福島、山口、沖縄の五つのみとなりました。北海道の果てしない紺碧、高知の荒れ狂う太平洋、鹿児島島の息をのむ雄大な自然—何度も訪れた土地があります。しかし、初めて降り立つ地の空気にはやはり特別な密度があります。目を見張る異郷の絶景、舌を躍らせる郷土の珍味、耳に響く温かな訛り、そして心に刻まれる偶然の出会いが私の内面を変えていきます。

およそ20年前、小学校卒業以来となる東京行きの新幹線に心を重くしていた私が、今では未来は今日から始まるとばかりに、欧州へビジネスの翼を広げています。

人は変わる、いや変わらざるを得ないのかもしれませんが。行動し続けることで、私たちがまた新たな自分を発見する旅をしているのでしょうか。

「森林のたより」編集委員 岐阜県立森林文化アカデミー 中村幹広

イベント情報

3月1日発行

連載

●山の歳時記(235)

清流と森と親しむ

●森林と人を活かす知恵(146)

木と親しむ

●岐阜県の公共木造建築(143)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

●研究・普及コーナー

市況情報

その他

3月号
予定

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配	
第1873回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	14,600	—	→	
			16~18cm	14,000	—	↗	
		4 m	20~22cm	14,500	—	↗	
			24~28cm	14,400	—	↗	
			30cm以上	13,000	21,800	↗	
	6 m	16~22cm	17,200	—	→		
		16~18cm	21,100	—	↗		
	初市 1月14日	ひのき	3 m	20cm以上	18,900	62,300	↗
				16~22cm	20,700	—	↗
		4 m	24~28cm	19,000	—	↗	
30cm以上			18,700	56,300	↗		
16~18cm			—	—	→		
第1468回 飛騨共販所		すぎ	3 m	16~22cm	14,000	—	→
	24~28cm			14,400	—	→	
	30cm以上		12,000	28,800	→		
	ひのき	3 m	16~18cm	20,000	—	→	
			20~22cm	19,500	—	→	
		4 m	24~28cm	20,800	—	→	
			30cm以上	23,000	138,800	→	
			6 m	16~20cm	—	—	→
	ひめこ	4 m	24~28cm	12,500	16,000	→	
			30cm以上	15,000	40,000	→	
5 m		40cm以上	—	—	→		
初市 1月15日	くり	4.2m	24cm以上	15,000	25,300	→	
			16~22cm	14,000	—	→	
第1802回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,000	—	→	
			24~28cm	14,000	—	→	
		30cm以上元	15,000	19,000	↗		
	ひのき	3 m	16~22cm	20,300	30,000	→	
			24~28cm	19,200	34,000	→	
			30cm以上元	28,000	34,000	→	
		4 m	13cm以下	12,000	—	↗	
			24~28cm	19,200	36,000	→	
			30cm以上元	29,000	126,000	→	
	初市 1月9日	まつ	4 m	22~28cm梁	—	—	→
30cm以上元				11,000	—	→	

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

スギ4m元木、尺上良材は入札多数で活気あり、価格は保合。スギラミナ向け3m・4m材は保合。ヒノキ元木良材4mは入札旺盛で活気あり、価格は強含みで引き合いは強い。ヒノキ3m・4m構造材の価格は保合で推移。合板向けは弱基調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

ヒノキ、スギ並材は横ばいで推移。ヒメコ4m(30cm以上)良材は引き合いが強い。広葉樹も全般的に引き合いが強い。高値はヒノキ4m×50cm@138,800円、スギ4m×50cm@28,800円、ヒメコ4m×46cm@40,000円、クリ2.1m×38cm@36,000円、ナラ2.2m×36cm@49,300円、ホウ2.2m×30cm@36,000円、サクラ4.2m×34cm@40,300円、マクルミ4m×34cm@38,700円、ブナ2.2m×40cm@40,000円。(飛騨)

ヒノキ役物良材は応札多数で活気。4m・3m共に尺上・中目良材も地元工務店を中心に強気は継続。3m柱向け、4m土台向け、中目材も価格は保合ながらも引き合いは強い。スギの中目、尺上、元木良材は、底堅く価格保合で推移。目荒等並材は価格も伸び悩み売りづらさは継続。4m(24cm以上)構造材は保合、同3mは弱含み。6m長柱向け(18cm~22cm)は各方面から要望があり、継続して造材ご検討下さい。合板向けについては、価格は底入れ反発。ラミナ向けはスギ、ヒノキともに活発な動きあり。(東濃)

製品卸売標準価格 (12月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	68,000	(2,249)	→
	間柱	3000	105	30	1等	70,000	(662)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	79,000	(3,484)	→
	柱	3000	120	120	特等	74,000	(3,197)	→
6000		120	120	特等	155,000	(13,392)	↑	
W 集 成 材	柱	3000	105	105	国産5層	85,000	(2,800)	→
		3000	120	120	国産5層	88,000	(3,800)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (12月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	396	→
	コースト(目荒)	414	→
米楯	ヘム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに? ~ 木材用語 ~

目視等級区分製材

製材のうち、節、丸身などの欠点を目視で測定し等級区分するものを指す。実際にはスケール、ノギス等を用い欠点を測定し等級区分する。目視等級区分製材には甲種構造材(構造用I、構造用II)、乙種構造材がある。欠点の状態によって1、2、3級で等級付けされる。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典